東京応化工業株式会社
決算説明資料

-2023年12月期決算-

2024年2月14日
東京応化工業株式会社

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

目次

1. 2023年12月期　サマリー　p.2

2. 2023年12月期業績　p.3

3. 2024年12月期業績予想　p.9

4. tok中期計画2024の進捗状況　p.15

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

2023年12月期　サマリー

2023年12月期 実績	●**業績予想の下方修正**を実施（2023年7月28日）。 ●売上高は、**前年比131億円（△7.5%）減収**の**1,622億円**。急速な市況の冷え込みによる影響を受け、減収で着地。 ●営業利益は、**前年比74億円（△24.8%）減益**の**227億円**。**売上高の減少**に加え、**経費の増加**による影響が重なり、大幅な減益。
2024年12月期 業績予想	●前提条件：**生成AI**の本格的な普及等による各種最終製品の需要増加や、**顧客製品在庫水準の低下**に伴う**半導体市場の回復**を見込む。 ●足元の市況や当社製品の採用状況、顧客新規工場の稼働開始等を鑑み、前年度より**大幅な増収増益**を予想。**売上高1,792億円（+10.4%）**、**営業利益268億円（+18.0%）**。
株主還元	●連結純資産配当率 (DOE) 4.0%を目途とする配当方針のもと、**23年12月期末配当 86円**。**年間配当 168円と6期連続の増配**を予定。 ●24年12月期は、**中間、期末配当共に29円**、**年間配当 58円**を予想。**配当総額は増額予想**。　※詳細は本資料の株主還元・配当のスライドをご参照ください。

＊2023年3月1日に、一部を除く装置事業をAIメカテック社に事業譲渡しております。

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

業績概要 (通期)

（百万円、%）

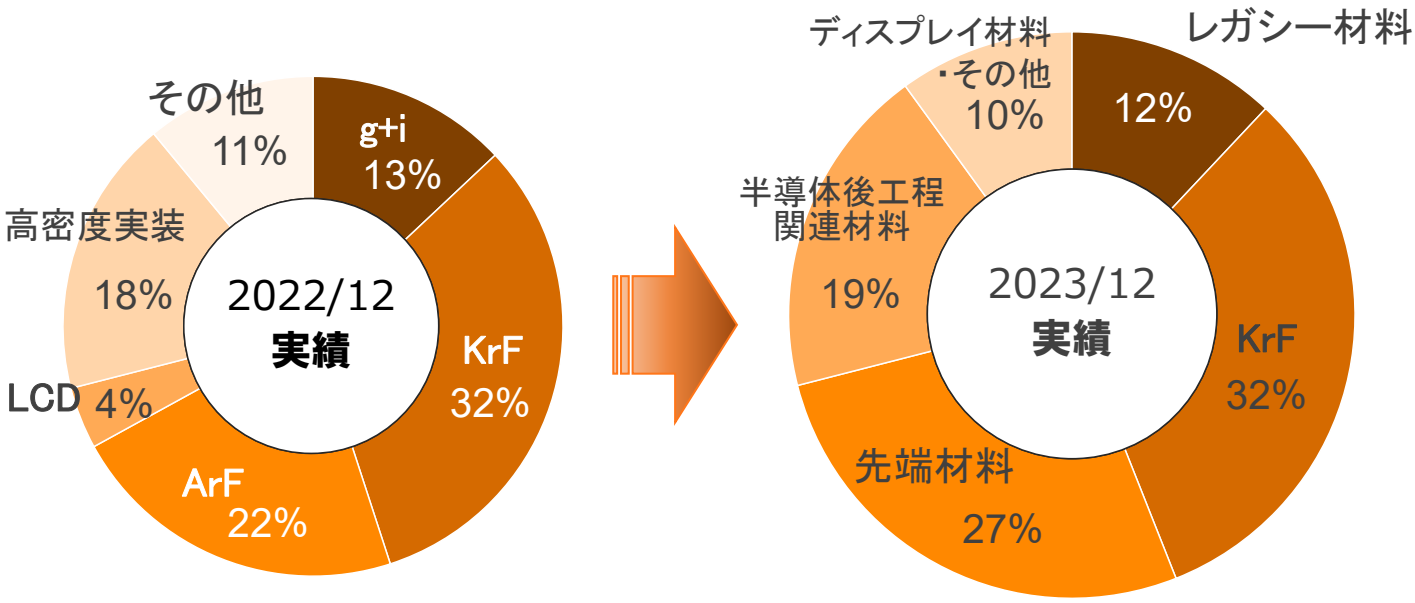
	2022/12	2023/12				
			増減	増減率(%)	修正予想	達成率(%)
売上高	175,434	162,270	△13,164	△7.5	164,000	99.0
エレクトロニクス機能材料*	92,799	87,799	△4,999	△5.4	88,500	99.2
高純度化学薬品*	77,565	71,992	△5,572	△7.2	73,600	97.8
その他*	5,069	2,477	△2,592	△51.1	1,900	130.4
営業利益	30,181	22,706	△7,475	△24.8	23,500	96.6
経常利益	30,966	24,260	△6,705	△21.7	25,000	97.0
親会社株主に帰属する当期純利益	19,693	12,712	△6,981	△35.4	13,500	94.2
EBITDA	36,943	30,420	△6,523	△17.7	31,300	97.2
ROE	12.1	7.2	△4.9	–	7.7	–

期中平均為替（US$）：130.6円／$（2022/12）⇒140.3円／$（2023/12）　*2022年12月期は、新セグメントに換算した数値。

- ■ 売上高　　：半導体生産調整の影響を受け、前年比△7.5%の減収。
- ■ 営業利益　：売上高の減少に加え経費等の増加が重なり、前年比△24.8%の減益。
- ■ 当期純利益：事業再編費用の計上等により、前年比△35.4%の減益。

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成



（注1）2022年12月期は、旧セグメントで計算。
（注2）2022年12月期は、EUVレジストはその他に区分。
（注3） 高密度実装：パッケージ材料、MEMS材料。

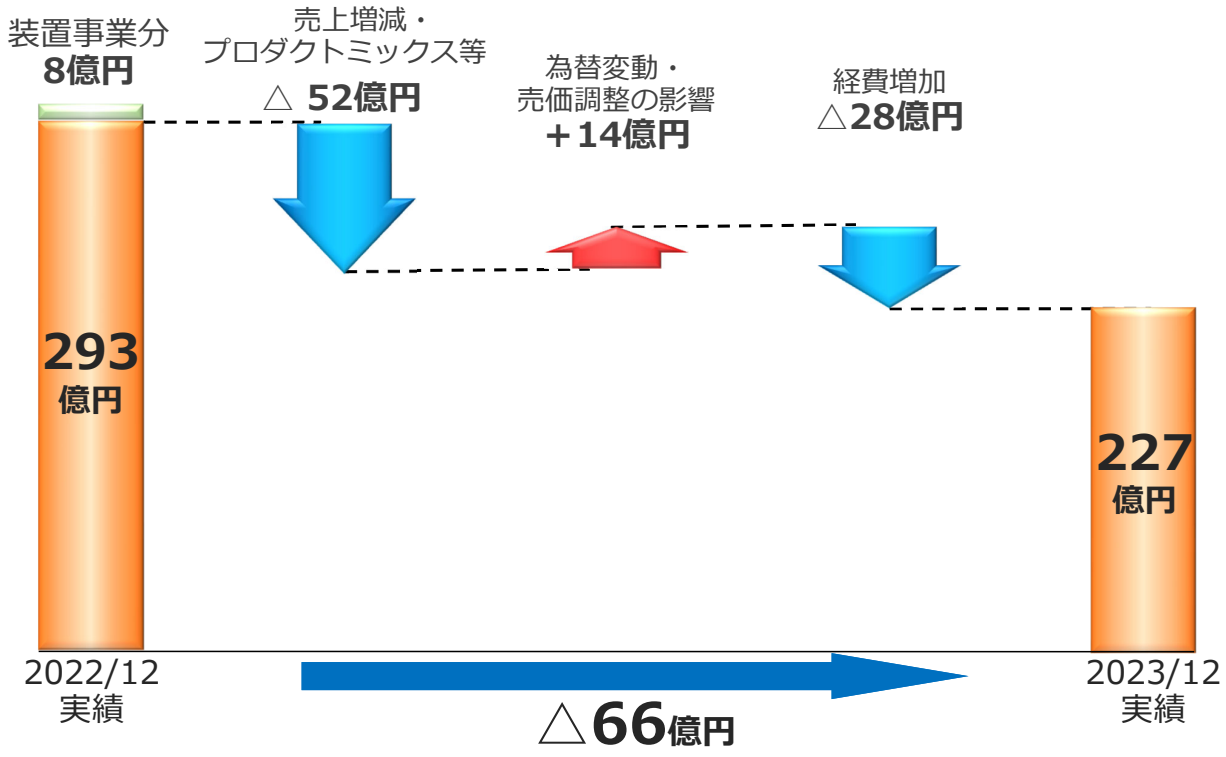
（注4）2023年12月期は、新セグメントで計算。
（注5）レガシー材料：g、i線レジスト等。
（注6）先端材料：ArF・EUVレジスト等。
（注7）半導体後工程関連材料：パッケージ材料、MEMS材料、WHS関連材料。
（注8）LCD材料を、ディスプレイ材料・その他に区分。

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

営業利益の増減内訳

2022年12月期実績　対　2023年12月期実績



tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

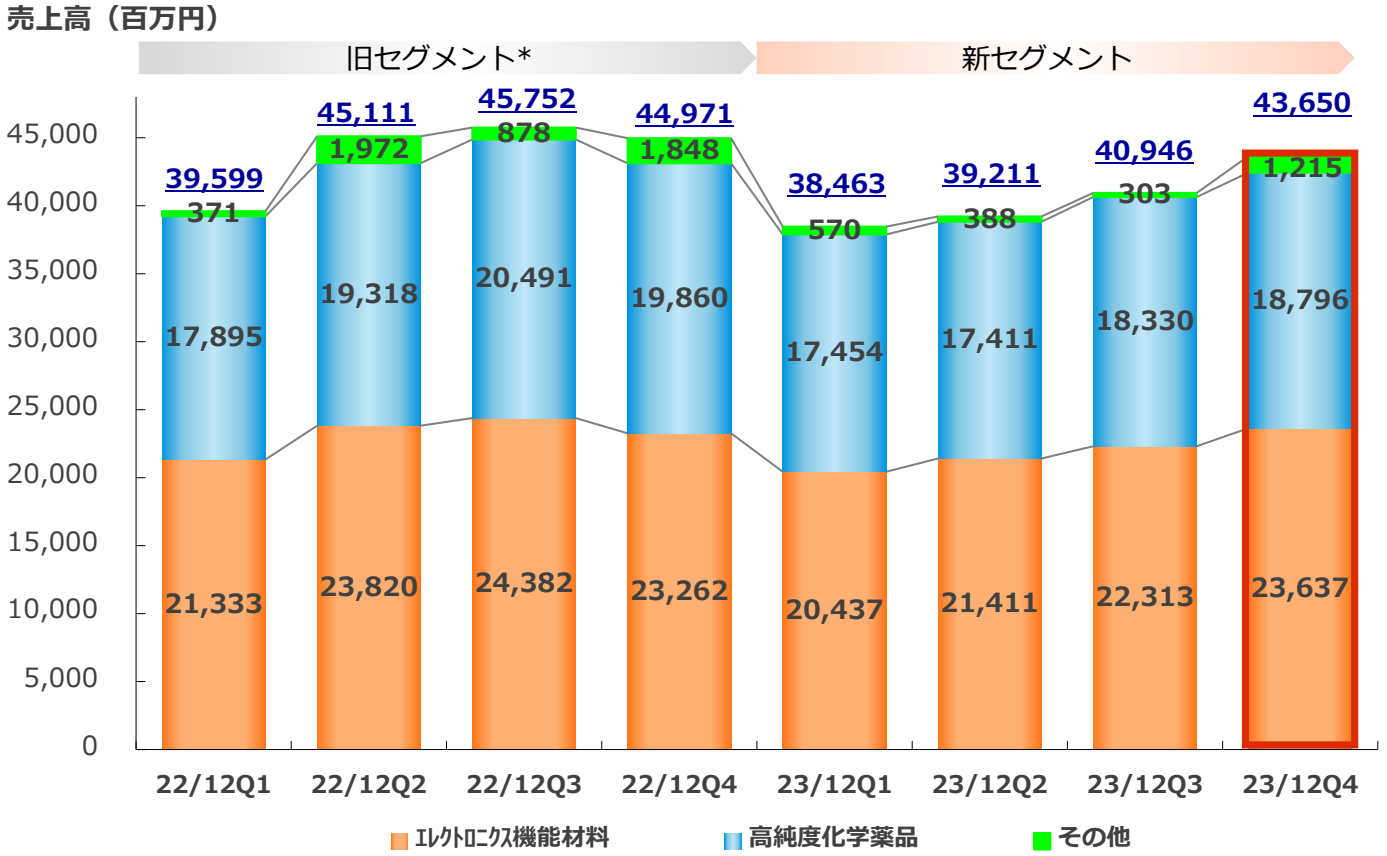
営業外損益・特別損益

（百万円）

	2022/12	2023/12	増減
営業外損益	+784	+1,553	+769
受取利息・配当金	+644	+952	+307
為替に係る差損益	△46	+128	+175
為替差損益	+280	+198	△81
デリバティブ評価損益	△326	△69	+257
特別損益	△176	△2,342	△2,166
固定資産売却益	+14	+220	+205
関係会社株式売却損	–	△837	△837
事業譲渡損	–	△1,720	△1,720

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

売上内訳



*2022年12月期は、新セグメントに換算した数値。2022年12月期のその他は装置事業分の売上高を含む。

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

設備投資・減価償却・研究開発

（百万円、%）

	2022/12	2023/12		
			増減	増減率
設備投資等	14,514	15,052	+537	+3.7
減価償却費	6,762	7,713	+951	+14.1
研究開発費	11,038	12,658	+1,619	+14.7

(注)2022年度から無形固定資産等を含めて表示しております。

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

2024年12月期業績予想

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

業績予想概要（通期）

（百万円、%）

	2023/12	2024/12		
			増減	増減率
売上高	162,270	179,200	+16,929	+10.4
エレクトロニクス機能材料*	87,799	97,900	+10,100	+11.5
高純度化学薬品*	71,992	79,300	+7,307	+10.1
その他*	2,477	2,000	△477	△19.3
営業利益	22,706	26,800	+4,093	+18.0
経常利益	24,260	27,700	+3,439	+14.2
親会社株主に帰属する当期純利益	12,712	17,600	+4,887	+38.4
EBITDA	30,420	35,100	+4,679	+15.4
ROE	7.2	9.3	+2.1	−

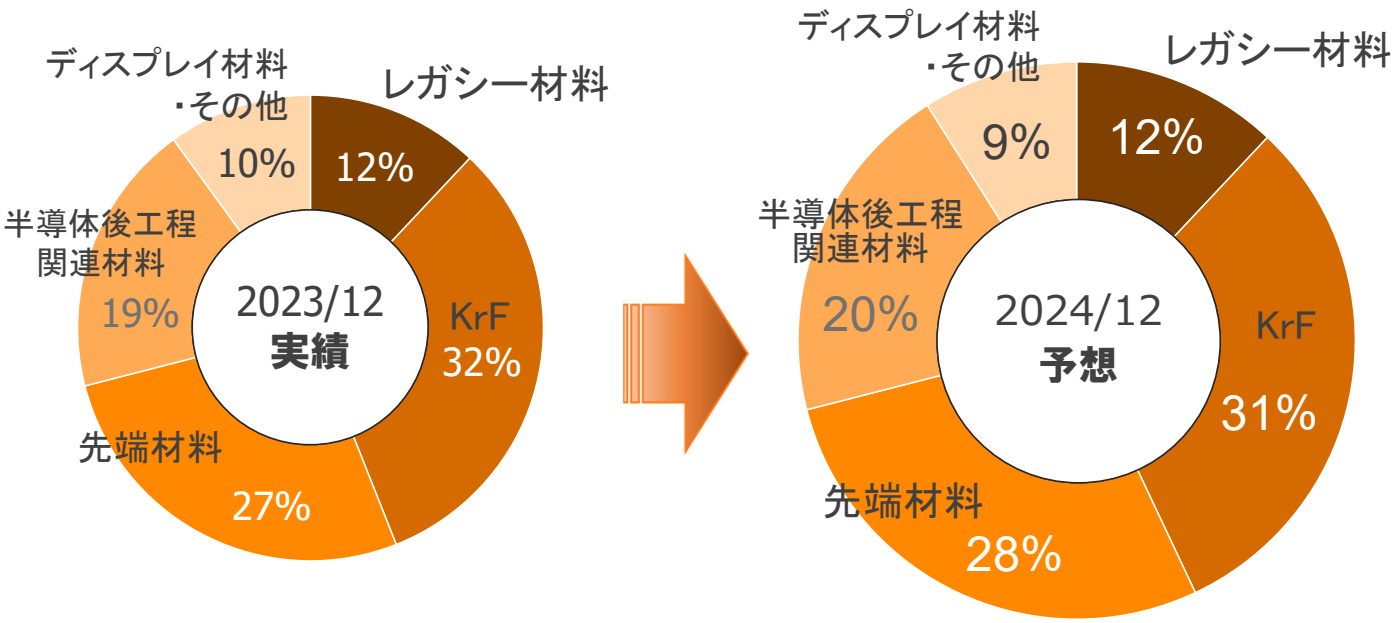
期中平均為替（US$）：140.3円／$（2023/12）⇒135.0円／$（2024/12）

- 売上高　：当社製品の採用状況や市況の回復等による効果を踏まえ、前年比10.4%の増収を予想。
- 営業利益　：高付加価値製品の売上増加等により、前年比18.0%増益を予想。
- 当期純利益：事業再編費用による影響がなくなることに加え営業利益の増加を見込み、前年比38.4%の大幅な増益を予想。
  過去最高の売上、最高に次ぐ営業利益を予想。

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成



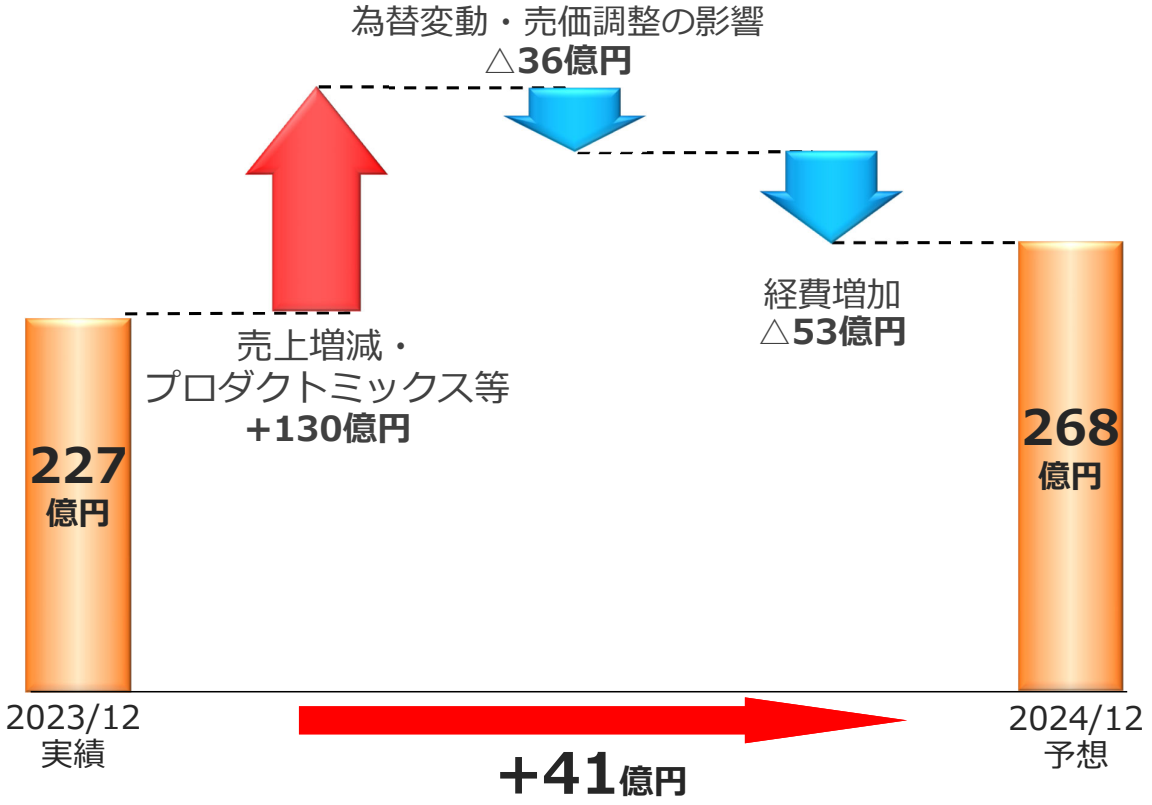
（注1）レガシー材料：g、i線レジスト等。
（注2）先端材料：ArF・EUVレジスト等。
（注3）半導体後工程関連材料：パッケージ材料、MEMS材料、WHS関連材料。

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

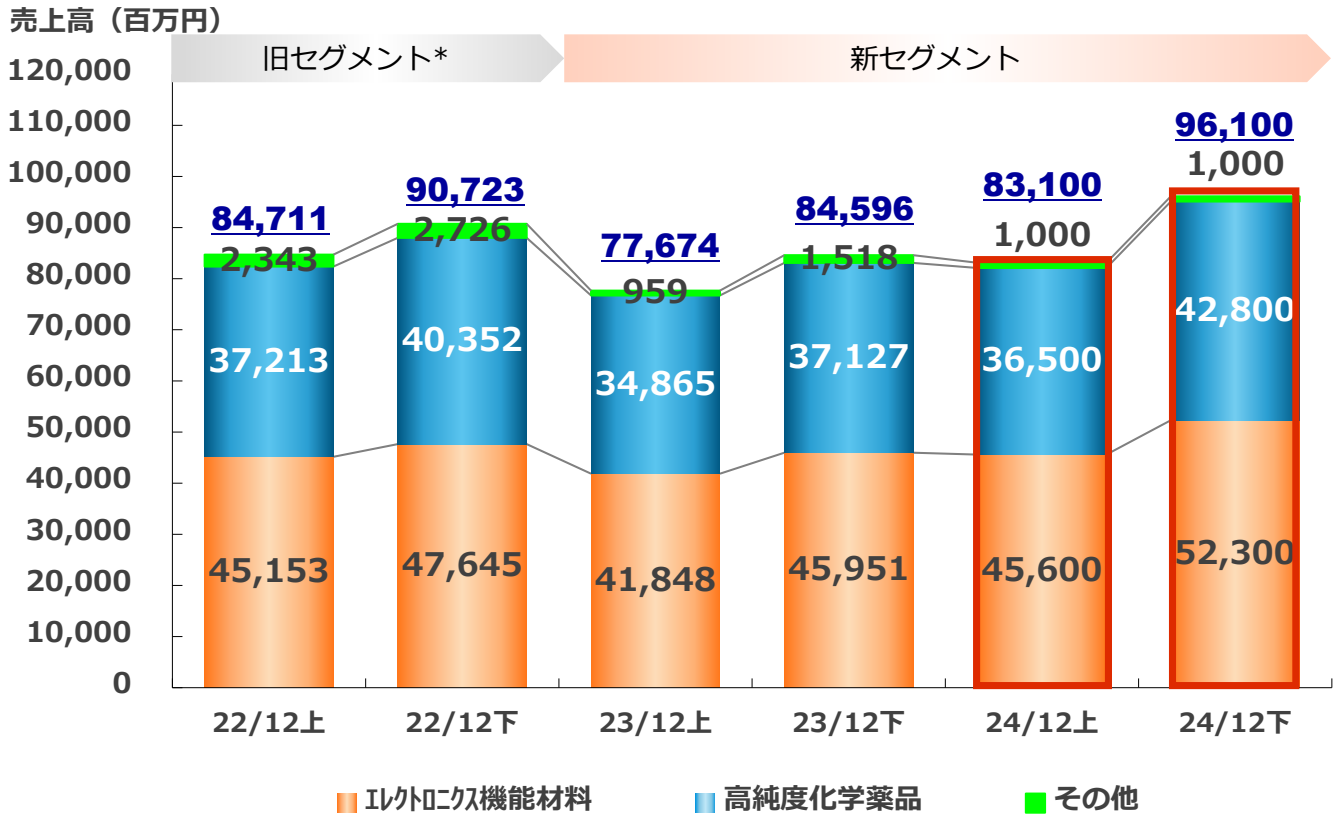
営業利益の増減内訳

2023年12月期実績　対　2024年12月期予想



© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

売上予想：部門別



*2022年12月期は、新セグメントに換算した数値。2022年12月期のその他は装置事業分の売上高を含む。

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

設備投資・減価償却・研究開発

（百万円、%）

	2023/12	2024/12予想		
			増減	増減率
設備投資等	15,052	27,300	+12,247	+81.4%
減価償却費	7,713	8,300	+586	+7.6%
研究開発費	12,658	14,500	+1,841	+14.6%

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

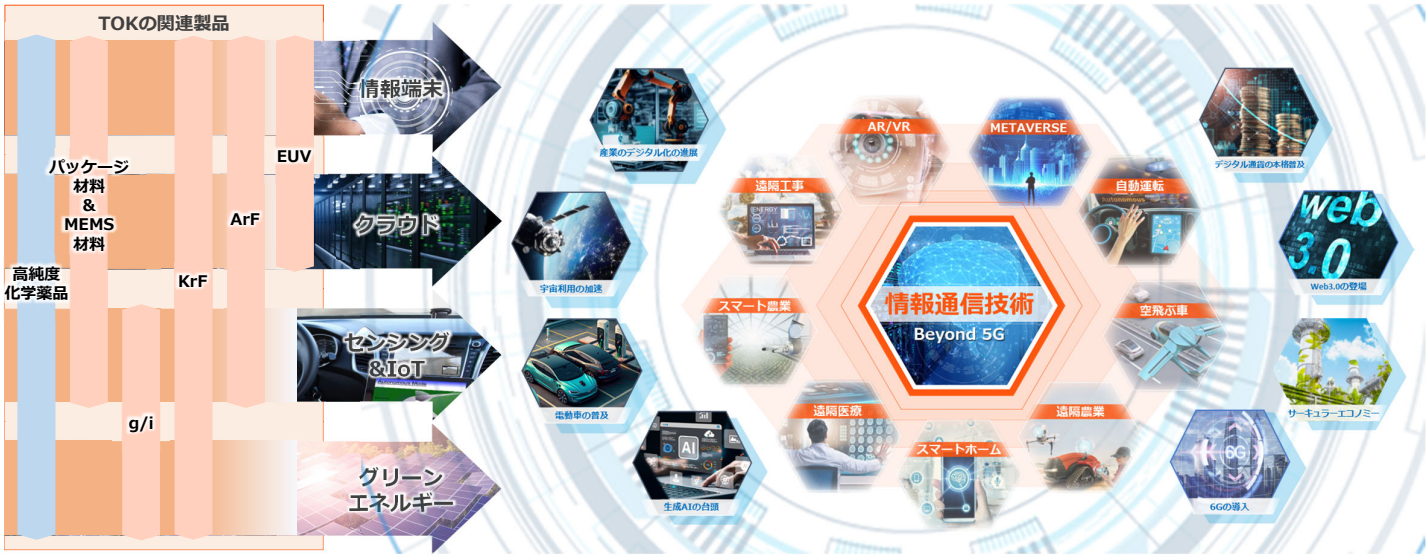
tok中期計画2024の取組み

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

2030年の社会 ～TOK Vision 2030～

4つの分野で豊かな未来の実現に貢献
更なる成長を目指す



tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

tok中期計画2024 ポイント

TOK Vision 2030を実現するための中期計画

経営ビジョン

豊かな未来、社会の期待に化学で応える

“The e-Material Global Company™”

中期計画戦略

（1）先端レジストのグローバルシェア向上

（2）電子材料および新規分野でのコア技術の獲得/創出

（3）高品質製品の安定供給とグループに最適な生産体制の構築

（4）従業員エンゲージメントを向上させ人を活かす経営の推進

（5）健全で効率的な経営基盤の整備

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

tok中期計画2024進捗①：業績

■ 業績目標

	2021/12期 実績	中計目標* 2024/12期	2022/12期 実績	2023/12期 実績	2024/12期 予想
売上高	1,400億円	1,800億円 /年 以上	1,754億円	1,622億円	1,792億円
営業利益	207億円	270億円 /年 以上	301億円	227億円	268億円
EBITDA	271億円	350億円 /年 以上	369億円	304億円	351億円
ROE	11.5%	8.0% 以上を維持	12.1%	7.2%	9.3%

- シェアの拡大、高付加価値製品の売上増加などにより、中期計画目標値の達成を目指す。
- TOK Vision 2030の実現を目指し、戦略的な投資を敢行。キャッシュ創出力の強化を継続。
- 利益率改善と株主還元、BSマネジメントの推進による着実な改善。

＊ 中計目標は、装置事業分を分を含む「tok中期計画2024」公表時の数値（公表日：2022年2月15日）

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

tok中期計画2024進捗②

■ 設備投資額・減価償却費・研究開発費の進捗

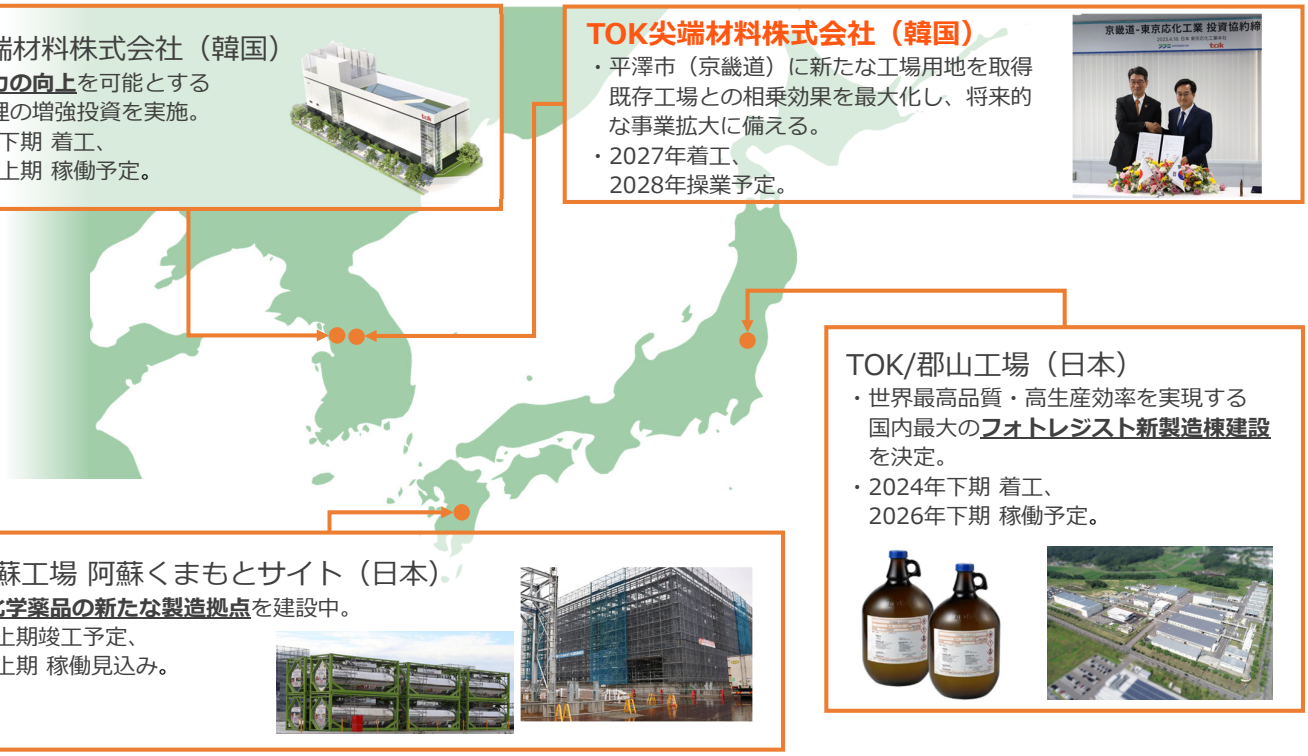
単位：億円	tok中期計画2024 3カ年累計当初計画	3カ年累計見通し	2022/12期 実績	2023/12期 実績	2024/12期 予想
設備投資額	600	568	145	150	273
減価償却費	220	227	67	77	83
研究開発費	330	381	110	126	145

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

設備投資の進捗

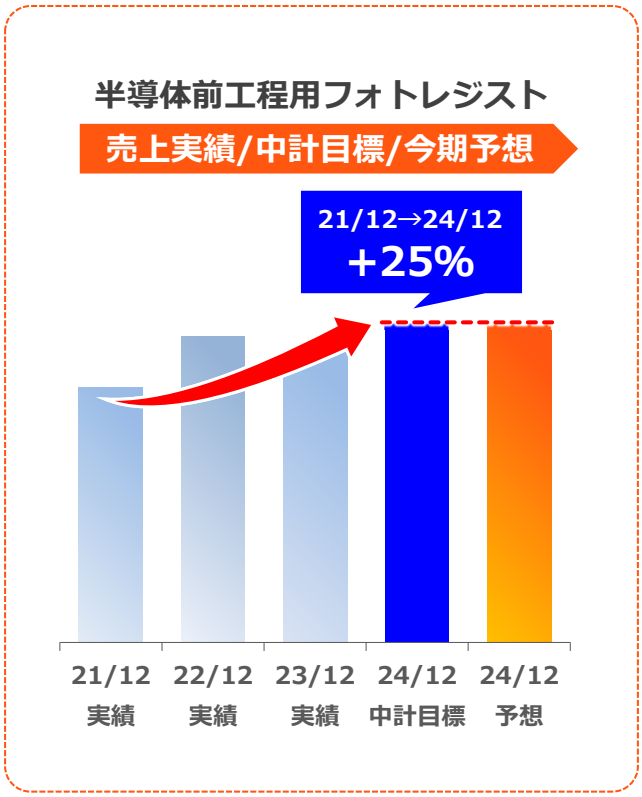
TOK Vision 2030の実現を目指し、戦略的投資を加速



tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

製品別の進捗・取組み①：
エレクトロニクス機能材料 半導体前工程用フォトレジスト



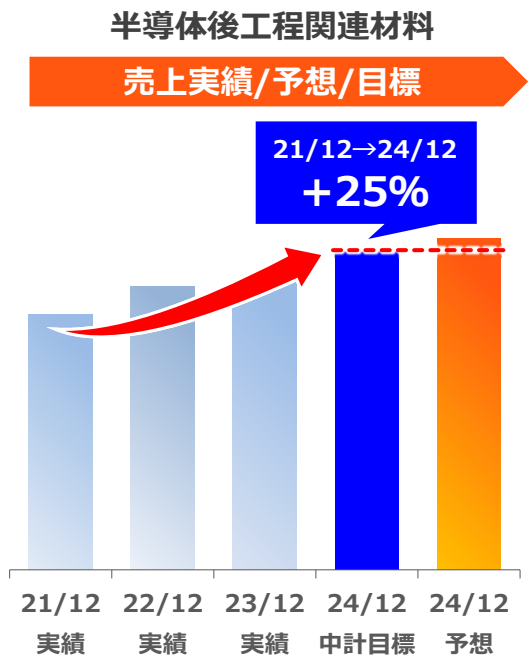
- **先端材料**
  生成AI用途を含む最先端分野での当社製品シェアが拡大中。
- **KrF**
  新～旧世代の半導体で当社製品シェアが拡大中。4つの成長分野すべてで貢献。
- **レガシー材料**
  車載半導体用途など「センシング＆IoT」、「グリーンエネルギー」分野で堅調に推移。

（注1）24/12　中計目標は、「tok中期計画2024」公表時の数値（公表日：2022年2月15日）。

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

製品別の進捗・取組み②：
エレクトロニクス機能材料　半導体後工程関連材料



■ **パッケージ材料**
生成AIの台頭に伴い先端パッケージレジストの需要増加。当社シェア拡大中。

■ **MEMS材料**
堅調に売上が推移。

■ **WHS関連材料**
3次元実装市場の成長と共に
AIメカテック社との協業を通じて、
さらなる成長を目指す。

（注）24/12目標は、「tok中期計画2024」公表時の数値（公表日：2022年2月15日）。
（注2）21/12、22/12実績は、旧セグメント、23/12実績および24/12予想は新セグメントでの数値。

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

製品別の進捗・取組み③：
高純度化学薬品

■ **台湾・中国・日本での販売拡大中**

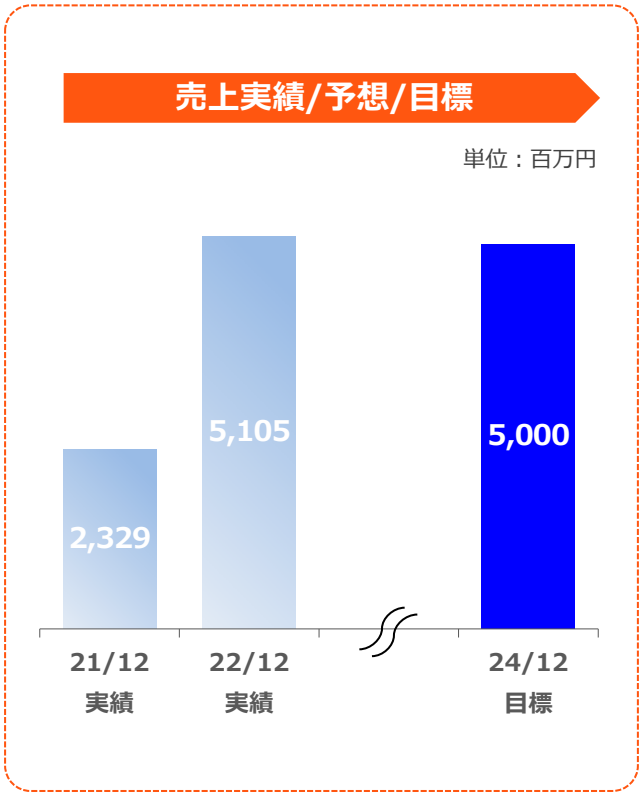
■ **先端プロセス向け製品への需要増加**

（注）24/12目標は、「tok中期計画2024」公表時の数値（公表日：2022年2月15日）。

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

製品別の進捗・取組み④：
装置事業



■ **2023年3月1日に、一部を除く装置事業をAIメカテック社に事業譲渡。**

（注）24/12目標は、「tok中期計画2024」公表時の数値（公表日：2022年2月15日）。

tok

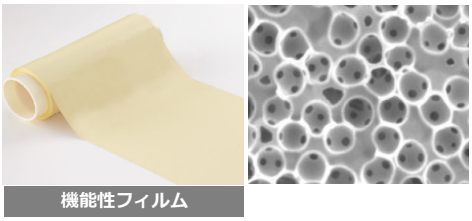
© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

新規事業（機能性材料・光学部材・ライフサイエンス関連材料）

機能性材料

■ 高耐久性を有する機能性フィルムの用途展開を推進。

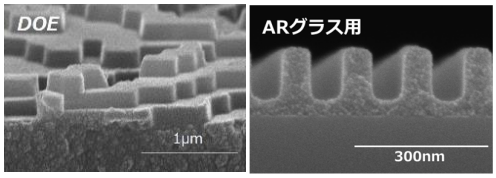
■ 表面改質剤のマーケティングを加速。



光学部材

■ AR/VR、3Dセンサー用途での上市を目指し、活動を推進。

■ オープンイノベーションによる開発促進。



ライフサイエンス関連材料

■ DNA解析用に**販売**を継続。

■ さらなる需要獲得に向けマーケティングの強化。

マーケティング機能を強化し、迅速な事業展開を目指す

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

従業員エンゲージメントを向上させ人を活かす経営の推進

持続的な企業価値の向上

人事制度改革　人材育成　働き方改革

従業員エンゲージメントの向上

「東京応化グローバル社員持株会制度」の導入

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

東京応化グローバル社員持株会制度

TOKグループ全従業員が、自社株を意識し勤労意欲および経営参画意識を高め、当社グループの中長期的な企業価値の向上を図る

先進的な制度を導入

海外関係会社
↓ 奨励金
海外従業員
↓ 拠出+奨励金　↑ 自社株
グローバル持株会
↓ 買付代金　↑ 自社株
サービス提供会社
↓ 決済　↑ 自社株
株式市場

制度導入による期待する効果

- TOKグループ視点での会社利益の従業員還元
- TOKグループの福利厚生の均衡化
- TOKグループの一体感醸成

制度概要

- 東京応化グローバル社員持株会制度(以下、本制度）は、グローバル拠点に在籍する従業員が当社株式を定期的に購入し、中長期的な資産形成を支援する制度。
- 本制度では、給与から天引きされたグローバル拠点に在籍する従業員一人一人の拠出金額をまとめ、グローバル持株会が当社株式を購入する。
- 拠出金額に対して10%分を各グローバル拠点が支給する。
- 本制度の運用にあたり、複数のサービス提供会社を通じて自社株を取得。
- 導入拠点（予定含む）：米国、台湾、韓国、中国、シンガポール、欧州

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

BSマネジメントの推進

創出したEBITDAは、将来の成長を見据え
設備投資に投下した上で機動的に株主還元に配分

3カ年キャッシュ・フロー（着地予測イメージ「24/12期」）

純資産配当率（DOE）：4.0%目処
自己株式の取得：弾力的に実施

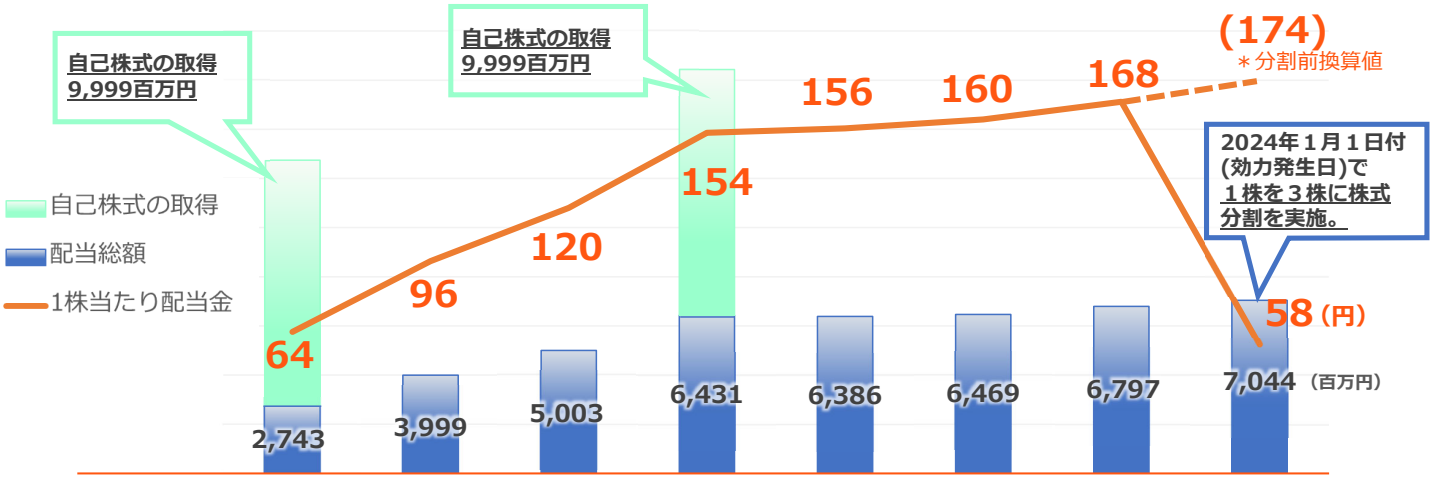
ロングランの研究開発型企業
（新規事業立ち上げ、
人的資本・知的資本投資、
気候変動対応、M&A）

半導体市場の拡大と
高品質製品の安定提供に
向けた生産基盤の拡充

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

健全で効率的な経営基盤の整備 <株主還元・配当の推移>

- 安定的かつ継続的な株主への利益還元を目的として純資産配当率（DOE）を採用。DOE4.0%を目処とする配当方針。（2021/12期より）
- 株主還元策として自己株式の取得についても弾力的に実施する。



決算期	17/12	18/12	19/12	20/12	21/12	22/12	23/12 予定	24/12 予想
中間配当	32円	36円	60円	60円	62円	78円	82円	29円予想
期末配当	32円	60円	60円	64円	94円	82円	86円予定	29円予想
特別配当				30円				

配当政策数値基準：tok中期計画2018 ～連結配当性向40%以上～ → tok中期計画2021 ～連結DOE3.5%を基準～ → tok中期計画2024 ～連結DOE4.0%を基準～

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

持続可能な企業を目指して
～高い成長性と地球環境への配慮の両立へ向けて～

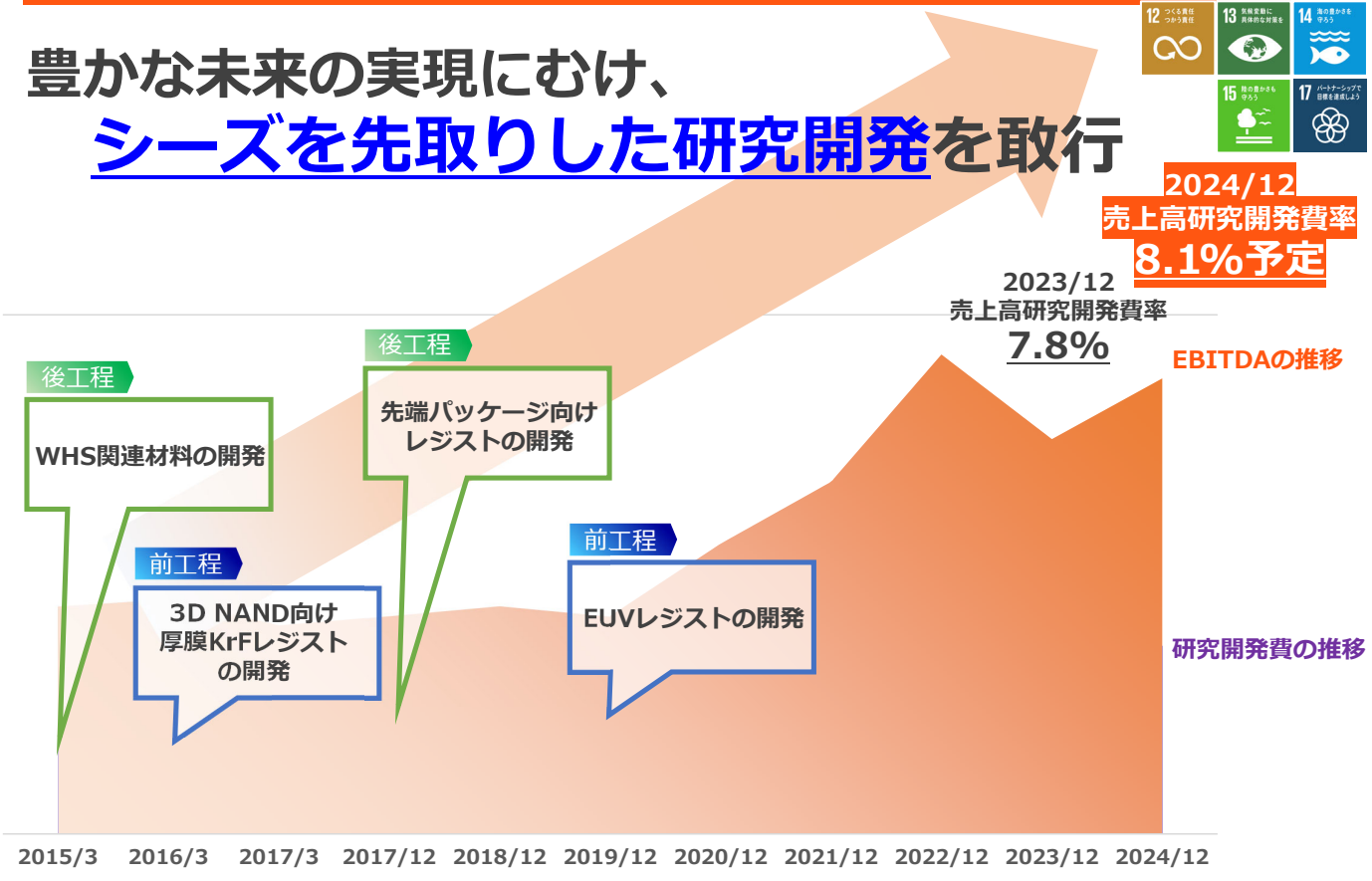
tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

研究開発費の推移

豊かな未来の実現にむけ、
シーズを先取りした研究開発を敢行

2024/12
売上高研究開発費率
8.1%予定



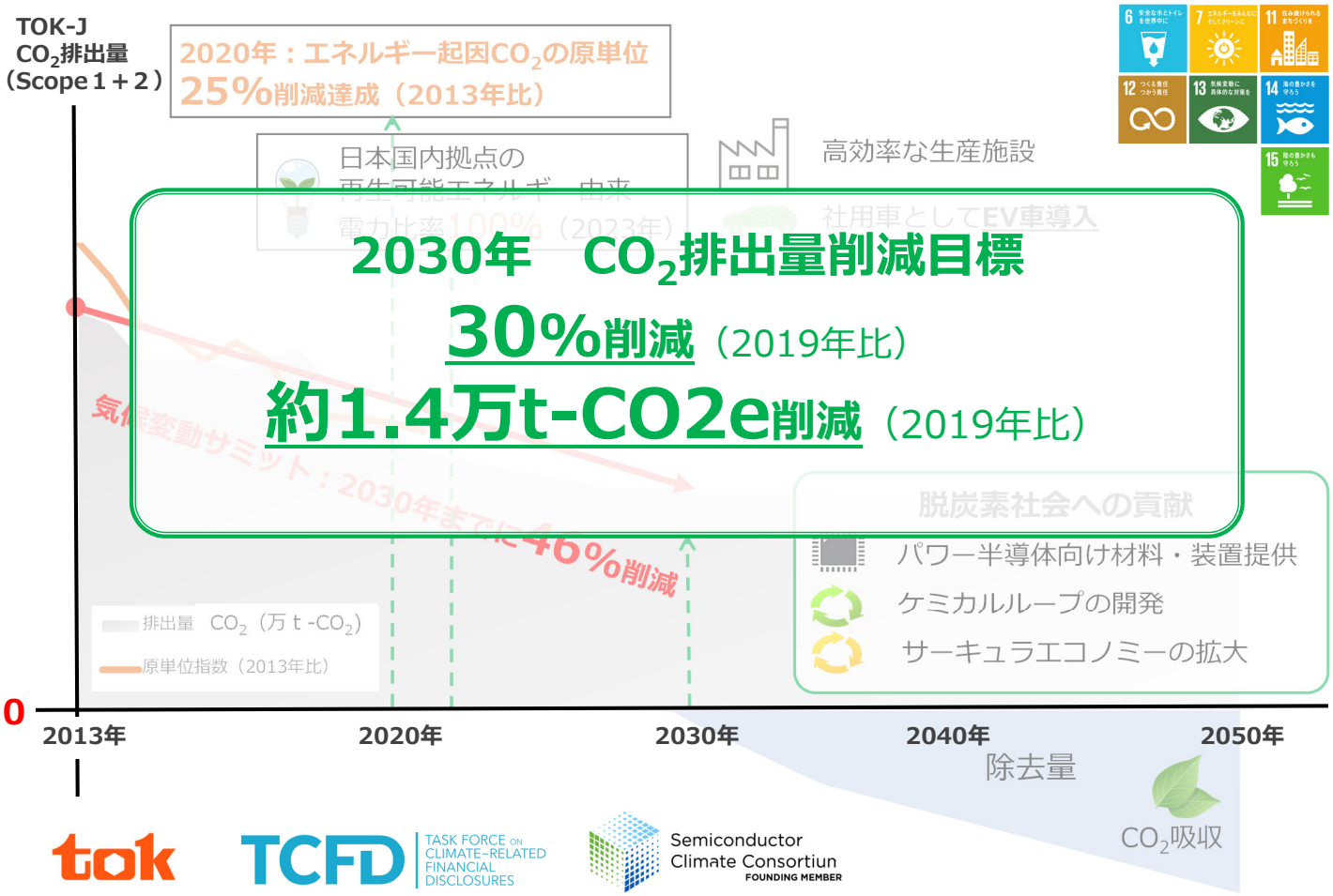
（注）　2017/12は決算期変更により9ヵ月決算となるが、17/1～17/12（12ヵ月）暦年補正の数値を使用。

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

カーボンニュートラルの実現に向けて

2050年GHG排出「実質ネットゼロ」を目指し挑戦



tok　TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES　Semiconductor Climate Consortiun FOUNDING MEMBER

豊かな未来、社会の期待に化学で応える

“The e-Material Global Company™”

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

Appendix

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

装置事業譲渡に伴うセグメント開示の変更について

		22年度までのセグメント	23年度以降のセグメント
材料事業	エレクトロニクス機能材料	●半導体用フォトレジスト（g/i線・KrF・ArF）	●半導体前工程用フォトレジスト（レガシー材料・KrF・先端材料） （注1）レガシー材料：g、i線レジスト等 （注2）先端材料：ArF・EUVレジスト等
		●高密度実装材料（パッケージ材料・MEMS材料）	●半導体後工程関連材料（パッケージ材料・MEMS材料・WHS*関連材料）
		●LCD材料（TFT材料・CF材料）	●ディスプレイ材料・その他（TFT材料・CF材料・その他）
		●その他（EUV・その他）	
	高純度化学薬品	●シンナー・現像液・洗浄液	●シンナー・現像液・洗浄液
	その他		●その他装置 ●WHS*関連装置（2023年2月28日まで） ●プラズマアッシング装置（2023年2月28日まで）
装置事業		●WHS*関連装置 ●プラズマアッシング装置	2023年3月1日 AIメカテック社へ事業譲渡
		●その他装置	
		●WHS*関連材料	

*WHS：ウエハハンドリングシステムの略

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

比較貸借対照表

（百万円）

	2023/12	2022/12末比
流動資産	134,328	+3,692
現金預金	56,816	+1,445
売上債権	33,898	△1,913
棚卸資産	33,083	+3,076
有形固定資産	73,235	+7,224
無形固定資産	1,389	+93
投資その他の資産	42,912	+2,778
流動負債	38,627	△2,153
買入債務	20,331	△1,286
固定負債	17,756	+1,423
純資産合計	195,480	+14,520
総資産	251,864	+13,789

主な内訳
建物及び構築物 +4,162
機械装置及び運搬具 +929
建設仮勘定 +2,087

主な内訳
投資有価証券 +6,669
長期預金 △6,000
長期前払費用 +1,392

主な内訳
支払手形及び買掛金 △1,286
未払法人税等 △1,916
前受収益 +832

主な内訳
長期預り金 △421
長期リース債務 △394
繰越税金負債 +2,620

主な内訳
利益剰余金 +6,079
その他有価証券評価差額金 +4,479
為替換算調整勘定 +2,726

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

キャッシュフロー

（百万円）

	2022/12	2023/12
営業キャッシュフロー	+18,991	+17,210
税金等調整前当期純利益	+30,790	+21,918
減価償却費	+6,762	+7,713
受取利息及び受取配当金	△644	△952
為替差損益（△は益）	△1,066	△725
事業譲渡損益（△は益）	―	+1,720
棚卸資産の増減額（△は増加）	△7,510	△4,887
法人税等支払額又は還付額（△は支払）	△8,557	△7,558
投資キャッシュフロー	△12,383	△9,378
財務キャッシュフロー	△8,610	△7,376
換算差額	+1,389	+1,475
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△612	+1,931

主な内訳
有形固定資産の取得 △14,712
長期預金の払戻による収入（Net） +6,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出 △2,012

主な内訳
短期借入れによる収入 +482
配当金の支払 △6,628
非支配株主への配当金支払額 △1,163

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

www.tok.co.jp

＜ご注意＞

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、
これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

したがいまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより
この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、
いかなる確約や保証を行うものではありません。

tok

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.